平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月31日

上場会社名　株式会社中央製作所　　上場取引所　名
コード番号　6846　URL　http://www.chuo-seisakusho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 後藤　邦之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長　(氏名) 篠田　政明　TEL 052-821-6155

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	977	29.4	△50	―	△50	―	△50	―
24年3月期第1四半期	755	50.4	△38	―	△51	―	△52	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.55	―
24年3月期第1四半期	△6.70	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,286	1,464	34.2
24年3月期	4,654	1,560	33.5

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　1,464百万円　24年3月期　1,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
25年3月期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	0.4	24	1.3	22	―	20	―	2.60
通期	4,500	△11.1	60	△75.9	57	△75.5	50	△77.3	6.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	7,843,000 株	24年3月期	7,843,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	75,030 株	24年3月期	75,030 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	7,767,970 株	24年3月期1Q	7,769,705 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当期の株式配当につきましては、当社の事業を取り巻く経済環境や市場動向等が不透明であることから、遺憾ながら中間配当は見送りとさせていただき、期末配当につきましては、その後の業績動向に鑑み判断したいと存じますので、現時点では未定とさせていただき、配当予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……7
（５）重要な後発事象 ……7
４．補足情報 ……8
（１）生産実績 ……8
（２）受注実績 ……8
（３）販売実績 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等の政策効果によって、緩やかな回復基調が見られたものの、歴史的な円高の長期化、電力供給問題、エコカー補助金の終了など景気回復を鈍らせる要因も顕在化しており、先行きは不透明な状況であります。また、欧州の財政危機によるＥＵ加盟各国での緊縮財政、雇用・所得環境の悪化等により消費マインドは低迷し、この状況は今しばらく続くものと思われ、世界経済の成長の足を引っ張る状況にあります。一方、中国をはじめとする新興国におきましては、消費者の所得水準の上昇により、自動車等の工業製品への需要が増大しております。

超円高基調の中、電力供給にも不安を感じた各企業は海外生産をより一層進め、国内の生産体制においては規模の増大より需要の変動に即応性のある生産設備が求められるようになってまいりました。また、従来から活況の続く新興国における設備投資につきましては、日本国内からの生産シフトに対応するための生産設備と、新興国域内の消費水準に合わせた大幅なコストダウンを目指した製品を作るための生産設備に対して設備投資意欲が引き続き旺盛であります。

このような情勢を踏まえ、当社は国内需要にとどまらず海外での需要に積極的に対応できる体制の整備・充実を図るとともに、製品に対する幅広い技術力と柔軟な発想を兼ね備えた人材の育成・教育に重点を置き、新製品開発、社内意識改革を進めてまいりました。

その結果、当第１四半期累計期間の受注高は1,199百万円（前年同期比18.9％減）、売上高につきましては977百万円（前年同期比29.4％増）となりましたが、営業損失が50百万円となったほか、経常損失50百万円、四半期純損失50百万円の計上となりました。

以下主なセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（電源機器）

当第１四半期累計期間の電源機器は、継続して製品に対するコスト低減・短納期対応に重点を置き、既存の顧客はもとより、新規の顧客への積極的なアプローチを継続して展開してまいりました。特に、自動車関連業界をはじめ、電力、電池、アルマイト、水処理等の各業界へ積極的な技術提案を継続してまいりました。しかし、前事業年度後半から見え始めていた電子機器業界の設備投資の陰りが顕著になり、厳しい受注状況にありました。その結果、受注高は388百万円（前年同期比35.0％減）、売上高は216百万円（前年同期比31.5％減）といずれも減少いたしました。

今後は、小型インバータ電源の新型モデルを市場へ投入し、ますます多様化する新市場への積極的な技術提案を行い受注の拡大を図るとともに、既存市場での更なるシェアの拡大を図ってまいります。

（表面処理装置）

当第１四半期累計期間の表面処理装置は、受注・売上の確保のため国内の既存設備の更新需要の掘り起こし、海外における新たな生産拠点新設等の情報収集を積極的に行ってまいりました。その一方、厳しい価格競争に打ち勝つため、資機材の海外調達を拡大させるなど、より一層のコスト低減に取り組んでまいりました。その結果、受注高は463百万円（前年同期比22.1％減）と減少いたしましたが、売上高は442百万円（前年同期比187.2％増）と増加いたしました。

今後、営業面においては、顧客の海外における新たな生産拠点新設等の更なる情報収集を行うために中国に販売拠点を設け、これまで国内で培ってきた環境にやさしい表面処理装置の海外展開に向けて、中国及び東南アジア地区の需要開拓を行い受注の確保に努めてまいります。

（電気溶接機）

当第１四半期累計期間の電気溶接機は、国内市場における輸送機業界を中心に新規需要及び海外進出に伴う需要の情報収集に力を入れてまいりました結果、主に自動車業界における受注の緩やかな回復が受注・売上に寄与いたしました。一方、海外においては、ブランド力を有する汎用溶接機用制御装置が引続き好調に推移いたしました結果、受注高は204百万円（前年同期比77.9％増）、売上高は190百万円（前年同期比25.3％増）といずれも増加いたしました。

今後につきましては、新規に開発した精密溶接用小型インバータ電源の積極的な拡販に努めてまいります。

（環境機器）

地球環境保全について国際的な取り組みが進展する中、リサイクル関連機器及び各種液管理機器の機能改善に取り組んでまいりました。当該製品群は、表面処理装置に付帯する割合が大きく、受注高は78百万円（前年同期比3.7％増）、売上高は67百万円（前年同期比19.2％増）と増加いたしました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べ8.4％減少し3,575百万円となりました。これは、仕掛品が19百万円増加したものの、現金及び預金が225百万円、受取手形及び売掛金が109百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ5.2％減少し710百万円となりました。これは、投資その他の資産が34百万円、有形・無形固定資産合計が４百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ7.9％減少し4,286百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ11.1％減少し2,028百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が173百万円、未払法人税等が４百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2.2％減少し794百万円となりました。これは、退職給付引当金が11百万円増加したものの、役員退職慰労引当金が18百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ8.8％減少し2,822百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ6.1％減少し1,464百万円となりました。これは、利益剰余金が70百万円、その他有価証券評価差額金が25百万円減少したことなどによります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第１四半期累計期間における業績につきましては、概ね当初の予想範囲内であるため、平成24年５月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,060,379	835,091
受取手形及び売掛金	2,084,931	1,975,302
商品及び製品	70,959	50,082
仕掛品	541,587	561,425
原材料及び貯蔵品	97,990	111,141
その他	50,003	43,866
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	3,904,852	3,575,909
固定資産		
有形固定資産	305,272	303,203
無形固定資産	15,825	13,856
投資その他の資産	430,315	395,537
貸倒引当金	△1,768	△1,768
固定資産合計	749,645	710,828
資産合計	4,654,498	4,286,738
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,078,893	905,827
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	6,775	1,984
その他	356,945	280,511
流動負債合計	2,282,614	2,028,323
固定負債		
退職給付引当金	554,459	565,706
役員退職慰労引当金	229,400	210,666
その他	28,013	17,694
固定負債合計	811,873	794,067
負債合計	3,094,488	2,822,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	732,206	661,910
自己株式	△11,420	△11,420
株主資本合計	1,449,371	1,379,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,638	85,271
評価・換算差額等合計	110,638	85,271
純資産合計	1,560,010	1,464,347
負債純資産合計	4,654,498	4,286,738

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	755,426	977,290
売上原価	585,315	799,598
売上総利益	170,111	177,692
販売費及び一般管理費	208,879	227,779
営業損失（△）	△38,768	△50,087
営業外収益		
受取利息	16	18
受取配当金	3,329	3,107
雑収入	578	654
営業外収益合計	3,925	3,779
営業外費用		
支払利息	2,716	2,716
為替差損	13,521	1,047
雑損失	217	191
営業外費用合計	16,454	3,955
経常損失（△）	△51,297	△50,262
特別損失		
固定資産除却損	203	74
特別損失合計	203	74
税引前四半期純損失（△）	△51,500	△50,337
法人税、住民税及び事業税	533	538
法人税等合計	533	538
四半期純損失（△）	△52,034	△50,876

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

(１)生産実績

当第１四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	223,666	△57.2
表面処理装置	402,885	90.1
電気溶接機	186,079	39.6
環境機器	105,144	51.1
その他	15,069	△85.6
合計	932,843	△10.5

(注) １　金額は、販売価格によっております。
２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第１四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	388,713	△35.0	349,543	△60.3
表面処理装置	463,902	△22.1	614,886	△54.0
電気溶接機	204,178	77.9	141,865	204.4
環境機器	78,191	3.7	66,091	39.1
その他	64,335	△32.7	33,494	△55.2
合計	1,199,322	△18.9	1,205,879	△49.5

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第１四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	216,934	△31.5
表面処理装置	442,937	187.2
電気溶接機	190,817	25.3
環境機器	67,645	19.2
その他	58,955	△22.0
合計	977,290	29.4

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。